

第6次総合計画 基本構想「めざすまちの姿」検討シート（③環境）

（1）市民ワークショップ「タカラ ミライ ラボ」提言書

めざす まちの姿	あふれる自然が夢となるまち
実現した ことを確認 する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美しい自然の中で恵みある暮らしができています。 ・ 自然が守られ、活用（遊びなど）されている。

（2）主な社会経済動向

地球環境・自然環境

- ・ 「持続可能な開発目標（SDGs）」や「パリ協定」が採択され、持続可能な社会に向けた大きな転換点を迎えている
- ・ 第5次環境基本計画を閣議決定し、国際・国内情勢に対応した取組を推進
- ・ エネルギー源やライフスタイル等の変化により、里地里山など豊かな自然環境が失われつつある

（3）主な宝塚市の現状認識や特性

都市景観

- ・ 景観計画特定地区は21地区、面積は300.3ha
- ・ 本市特有の自然景観や農村・田園景観、芸術文化に育まれた景観の保全と形成が必要

緑化・公園

- ・ 都市公園面積は5.1㎡/人で市町村区域内の目標10㎡/人の半分
- ・ 公園アドプト制度により市民団体などが管理する公園数は増加傾向
- ・ 地域ニーズにあった魅力的な公園づくりが必要

環境保全

- ・ 公害苦情件数は近年減少傾向
- ・ 太陽光発電設備、高効率給湯器等の普及台数は、近隣市に比べて多い
- ・ ECO講座（環境リーダー入門講座）受講者数は、近年ほぼ横ばい
- ・ 健全で恵み豊かな環境を保全していくことが必要
- ・ エネルギー消費量の削減や再生可能エネルギーの創出に向けた更なる取組が必要

循環型社会

- ・ リサイクル率は30%前後の比較的高い率で推移
- ・ 市民一人1日あたりの家庭系燃やすごみ量は減少傾向
- ・ 3R（発生抑制、再使用、再資源化）を推進することが必要

都市美化・環境衛生

- ・ 宝塚を美しくする市民運動の参加人数は7万人弱、参加団体数は500団体弱で推移
- ・ ペットなどの動物の適正管理や害虫対策により、今後も快適な生活環境を確保することが必要

（4）めざすまちの状態

（都市景観）	（例）・山々と河川が織りなす自然景観や北部地域の農村・田園景観、芸術文化に育まれた景観、それぞれが調和した宝塚らしい景観が保たれ、魅力を増している。
（緑化・公園）	（例）・市民主体の活動の広がりにより、まちに花や緑があふれ、地域のニーズにあった魅力的な公園づくりが進み、住む人、訪れる人を魅了している。
（環境保全）	・
（循環型社会）	・
（都市美化・環境衛生）	・